

東日本大震災の被災者のために私たちは何ができるのか、誰しも同じことを考えていると思います。アメニティ 2000 協会は阪神間に避難してこられた方々を対象に暖かく迎え、支える活動をしようと計画しています。皆さんのお知恵お力をあわせて実りのあるものにしましょう。

## お知らせ

- ・チャリティ・オープンガーデン 5月10日(火) 宝塚市雲雀丘・正司邸
- ・通常総会 5月28日(土) 草志舎
- ・コウノトリの郷との交流 6月4日(土) 豊岡市

### 予告1

### 2011年度通常総会

総会はアメニティ 2000 協会の活動について会員が意見をかわし、今後の方針を決定する大切な集まりです。今年の総会は以下のとおりに開催いたします。多くの方の出席をお待ちしております。またご出席いただけない正会員の方は必ず委任状をお送りくださいますようお願いいたします。詳しくは同封のご案内をご覧ください。メールのある方にはメールでご案内をお送りします。

なお総会のあとは会員交流会をいたします。持ち寄りの料理と飲み物をいただきながら、普段会えない会員の方々と楽しくおしゃべりを楽しみましょう。

日時 2011年5月28日(土) 午前10時半

場所 草志舎(阪急電車西宮北口駅から徒歩3分)

交流会参加費 1,500円

### 今こそ私たちがお返しする時です~~大震災被災者支援のために

この度の震災では阪神間の自治体が被災者の受け入れることを決定し、すでに一部の方々が避難してこられています。アメニティ 2000 協会はこのような被災者への応援活動を行いたいと思っています。その一環として被災者を招待しての支援コンサートを次のように開催することになりました。

第1回 日時:2011年7月23日(土) 午後2時

出演:アンサンブル・アメニティ

場所:神戸栄光教会

第2回 日時:2011年11月23日(水・祝)

出演:森祐理

場所:カトリック夙川教会

いずれの会場も客席数が多いので、招待者以外にも大勢のお客様で会場を埋めて、活気あるコンサートにしたいものです。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 予告2

### コウノトリの郷との交流

豊岡市のコウノトリを野生に帰す活動は地元の方々の根気づよい努力によって順調に進んでいます。特にコウノトリ郷公園の周辺の農家の方々が無農薬有機農法を実践することで、コウノトリの餌となる生き物がふえ、それがコウノトリの野生化を支えているのです。私たちはその「コウノトリ育む農法」のリーダー的存在である暇さんとおつきあいをしてきましたが、今年も暇さんと一緒に農業体験として田植えをします。

月日 2011年6月4日(土)

場所 豊岡市立地域農業管理施設(豊岡市祥雲寺字土橋)

参加費 1,500円

詳しくは同封の案内チラシ、あるいはメールでご案内します。そちらをご覧ください。

### ご報告1 建物の保存を考える in Tokyo 4月9日(土) 旧前田侯爵邸、日本民藝館

会員以外の参加者が多く、久しぶりの顔もあって、楽しいひと時でした。日本民藝館では学芸員の杉山さんのおはなしの解説を受けながら名品展を楽しみ、柳宗悦の旧宅の見学もしました。折しも旧前田侯爵邸の桜が満開でお花見もできました。今回の差益は東日本大震災の被災者支援の基金に寄付いたします。



旧前田侯爵邸にて

ヴォーリス六甲山荘の公開が今年も4月から始まりました。山荘には昨年のワーキングホリデイに合わせて石窯ができたので、今年の予約メニューに加えられるピザの試食会に参加しました。

この石窯も会員の手作りです。石窯が十分に熱いとピザはあっという間にパリパリに焼けますが、そこまでの準備にかなりの時間がかかります。煙にむせながらの火起こし・火力の調整、材料準備やピザ生地づくり等々。後片付けを含めそれらを分担して進める裏方作業は大変でも担当会員の皆さんなごやかにすすめておられるのは、ここでの共同作業の質のよさや清水理事長さんご夫妻をはじめとする皆様のお人柄によるものでしょう。

私は、落ち葉掃除やマキ運びなど簡単な作業をさせてもらいながら、ピザの焼きあがるのを待ちました。敷地も広いここでは老若男女の初心者も担える作業は沢山あります。

しんとした森の中で、現場作業に当たっている多士（女）済々の皆様から鳥の声の聞きわけ方や周囲の木々・足元の山野草の名前また石窯造りのご苦労など作業の合間に色々教えていただいているうち、ピザが焼きあがりました。寒冷の山中で一冬過ごした石窯はすっかり冷え切り、今年初めて火をいれたその日は熱するのに時間がかかったそうです。試食中も焼きあがり具合など談論風発で、色々な試し焼きがありじゃがいもやたまねぎの丸ごとアルミホイル焼きもしました。

風と光と緑とともに味わう熱々のピザの美味しさは格別です。この山荘でも東日本大震災の被災者のために何かしたいものです。

### ご報告2 和のこもの展 4月20日（水）21日（木） 草志舎

毎年の事ですが会場にならんだ品物がとぶように売れる人気ぶりで、終わってみると品物はほとんど残っていないという有様。協会が設けた喫茶もよく売れて忙しくはありましたが、やりがいのある2日間でした。あしやくローバーからは売上の20%がアメニティ 2000 協会に寄付いただきました。今年は純益の残りは東日本大震災に支援に寄付されるとのことです。また喫茶の差益は 円となりました。スタッフの皆さま、お疲れ様でした、ありがとうございました。なおお昼ごはんは東北の料理をヒントにした献立で、くるみ入り巻きずし、稲荷寿司、花豆、けんちん汁でした。

### お薦めの本

### 須賀 敦子 著 「ヴェネツィアの宿」

前野 耕作

20年近くも前に、ぶらりと立ち寄った本屋で何気なく買った「ミラノ霧の風景」が須賀敦子との最初の出会いでした。以後出版された10冊近いエッセー集は、私が知らない様々に陰影を持ったイタリアの奥深い部分を教えてくれました。

著者は子供時代を夙川で過ごし、小林聖心、聖心女子大学、ついで慶応大学大学院を中退してフランスに、その後イタリアに留学しましたが、イタリア人の夫と死別した後に、13年間を過ごした彼の地から帰国し上智大学の教授になっています。帰国後20年も経ってからイタリアの体験を基にエッセーを書き始めました。

本書は、そのうちの3作目で、家族間の人間関係や第2次世界大戦を挟んでイタリアに留学するまでの軌跡が描かれています。

冒頭は、ヴェネツィアのフェニーチエ劇場で上演されているオペラのさざめきが聞こえるホテルに宿を取って、数十年前にこの土地を訪ねた父親を回想する場面に始まり、その父親の死で終章を迎える一冊です。著者の人生に大きな影響を与えた父親との葛藤と和解を中心に語られますが、その間に夙川や疎開先の小野で過ごした少女時代、戦後の混乱期の聖心女子大での生活、初めての留学先のフランスでの暮らし等の一編一編がまるで掌編小説のような物語性に富んだ文章で綴られています。

須賀敦子のエッセー集の多くはイタリアでの生き様や文学を中心に、ミラノ・ヴェネツィア・ローマ等の街は勿論、歴史・建築・美術等を幅広く網羅しています。また、日本とイタリア文学の翻訳も多く手掛け、品性のある明晰な文章は翻訳の推敲を重ねる事によって磨かれていったのだと思います。残念ながら1998年に亡くなりましたが、折に触れ再読したい作家です。 （文芸春秋社刊）

<次回は植松雅代さんをお願いします>

### 六甲山荘だより

4月2日（土）からいよいよ今年度の公開が始まりました。いつまでも寒さの残る時期で特に山の上は冷える日が多いのですが、初日から来場者があり幸先のいいスタートでした。

30日（土）には石窯ピザのランチをしました。冬の間に冷え切った石窯がなかなか温まらず、窯焚き職人が大変苦労しましたが、手作りの生地でなんとか美味しいピザを提供することができました。



## 大佛次郎&lt;日本のナショナル・トラストの誕生に貢献した文化人&gt; その2

大佛次郎は、英国ナショナル・トラスト運動を本格的に紹介した最初の人物とされています。戦後になって多くの文明批評を発表していきます。1962(昭和37)年には「どこまでも」という随筆で、核兵器の廃棄・核実験の中止を訴えます。また、1965(昭和40)年にも「もう人を殺すな」という題でベトナム戦争の早期休戦をアメリカ国民に向けて人道的立場で語りかけるのです。そして、本論に関わる主張は同年の朝日新聞の学芸欄に題「破壊される自然」で5回の連続投稿をしています。内容は、随筆集「石の言葉」に掲載されています。論旨は次のようです。

戦後経済成長に伴い全国で開発の波が押し寄せます。戦災を受けなかった京都・奈良そして鎌倉の三古都には、「懐古的でなく近代生活の手段を十分に取入れながら周囲の自然の美しさを留めて置きたいと、かねてから念じていた」。しかし、その影響は古都にも無計画に波状的に及んでいる現状を訴え、二つの問題点を指摘します。ひとつは、頼みの綱である法的規制は開発優先が基本にあるため極めて限定的であり、実効性に乏しく無力であると整備の必要性を説きます。もうひとつは、国民性について、「日本人は、自然を愛する国民としてながめられて来た。どうやらこれは嘘で、わが家の朝顔だけを大切に育てて公共の自然のことをあまり考えてないのではないか。」と日本人の心の問題を憂います。外国の通信員から「戦後の日本は、たくみに金をもうけるように立回るだけで、責任をとるべき大切な場面になると、体をかわして逃げる。」と、見られていることを嘆くのです。このような自然保護に対する法制度・意識の未熟さが開発に無防備になっていると述べ、英国において起ったナショナル・トラストによる保存方法を好例として紹介していきます。

「19世紀の末ごろだが先見のある人々が英国の美しい自然や歴史的背景のある古い建物が、産業家や建築業者の見さかない要求から犠牲になる日があるのを予見して、史跡と天然美を保護するのを目的で一つの機関を設立した(1895)。英国でナショナル・トラストと言う略称で通るようになったもので、国営機関でなく、一般の自発的援助で財政を支えられる方式である。」補足しますと、ナショナル・トラストの誕生の歴史的背景は、「予見」というよりも産業革命によって荒廃した国土の自然と歴史的環境の悪化を、自分たちの手で防止するしかないという切羽詰まった決断であったというのが実態でした。正にそれが国民たちで守ると言うナショナル・トラストの理念を創出したのです。以下設立経緯、この制度が英国国民に受け入れられ発展したことを説明していきます。最後に、英国の「牧歌的な理想が、国民の協力で熱心に行われている社会」と日本の「田舎といわず山河の破壊を見て、無感覚で無方針なのが、はずかしい」という対比をしながら、「市民の強い要望が生れ、日本の自然を守るように協力が行われるのを期待したい。皆で主張しなければならぬ危機が来ているのである。」で結んでいるのです。

## おしゃべリアラカルト

## カトリック教会と名次町散策および山本邸見学

森 英貴

以前から一度は訪れてみたいと思っていた「夙川カトリック教会(1932。梅本省二)。尖塔が美しく、お話を聞くとモデルはフランスのサント・シャペルとか。カトリック教会といえば、自分が50年前に通っていた親愛幼稚園(京都)(河原町三条上ル)の母体の聖ザビエル天主堂(明治23年(1890))を思い起こしました。今は明治村に移築され、跡地には京都ロイヤルホテルが建っています。この明治村、なんとも標本箱のような展示配置で意味はあるかもしれませんが、やはり教会はこの夙川カトリック教会のように、街中にあるべきものと痛感いたしました。

次に山手幹線の歩道を東に向かい昼食で和気あいあい。やはり同じ興味をもつ人たちのあつまりにいろいろと話しに花が咲きました。この山手幹線、戦前からの規格・決定のようで、たった一車線で幹線とはオソマツな話。片側二車線の幅はあるのですが右折レーンを随所に採り、完全なる一車線となっています。戦前の規格(企画?)ということとはまわりに田んぼがひろがり右折レーン作ること考えになかったかもしれません。

万葉集の草花がある西田公園の少し手前を北に。名次町探訪です。阪神大震災の影響か空き地も散見されますが風格のあるお屋敷町です。この区画、区割のまま、「現状を「最低敷地面積」としミニ開発などなさないように願う次第です。少し丘陵ふうと歩いていて思われませんでしたでしょうか?ここは万葉集に詠まれた「名次山」なのです。「名次山はわが国最古の歌集万葉集巻3に「吾妹子に猪名野は見せつ名次山角の松原いつか示さむ」高市連黒人によって詠まれ、すでに1200年の昔より、名勝地として名高く現名次町は古昔の名次山であり」と名次神社のサイトにあります。

県道建石線沿いの山本清日邸はすばらしい邸宅でした。また、家族とで見学に行きたくなりました。県道をはさんでお向かいにDOCOMOMOに選ばれた「浦邸(1956吉阪隆正)そしてその南隣に「いるか設計集団」がこの「浦邸」を尊敬(リスペクト)して同じような建物を建てそれが並んでこの邸宅の窓越しに見ることが出来たのが印象的でした。

<歴史的建築物研究会  
2011年3月26日>



カトリック夙川教会

## 駒井家住宅ニュース

今年の白川疏水添いの桜は長く楽しめました。桜の時期には駒井家住宅にもたくさんの人が訪れます。花見のついでにおしゃれなスポットをちょっと覗いてみようという感じで来られる方が多いのですが、これを機会にヴォーリス建築と親しくなってもらえるといいですね。



## 名簿掲載について

総会にあわせて会員名簿を発行します。名簿への不掲載を希望される方はご連絡ください。ご連絡のない場合は掲載させていただきます。名簿は掲載者のみにお送りいたします。なお前回不掲載の方は今回も同様にいたします。

## 私たちの手でヴォーリス六甲山荘を育てましょう!

### ヴォーリス六甲山荘募金報告(目標金額 2000 万円)

3月の募金状況 57,500円<累計9,032,498円(624名から1,597口)>  
会員 57,500円(5名から11口)<累計4,788,170円(443名から953口)>  
一般 0円 <累計3,328,745円(199名から663口)>  
一般団体 0円<累計81,000円(5団体から16口)>  
その他 0円<累計832,883円>

振込口座・郵便局 00950-5-36168 アメニティ 2000 協会

## 支援事業のスタッフ募集

東日本大震災被災者支援活動を企画実行するプロジェクトチームを立ちあげます。チームの一員として参加して下さる方を募集します。参加ご希望の方はご連絡ください。ぜひ一緒に動いていきましょう。

## 会員からのご案内 三人展のご案内

会員の山崎富美子さん、忠厚さん、さやかさんの親子三人の作品展が次のように開かれます。

### 『三人展：思い想う』

期間：2011年6月17日(金)～28日(火)

時間：午前9時～午後6時

場所：田尻歴史館(泉南郡田尻町吉見1101-1)

TEL072-465-0045

入場無料

富美子さんの書、忠厚さんの版画、さやかさんの絵と三つのジャンルが響き合うすてきな展覧会です。

## 総会準備のスタッフ大募集

5月28日の総会にあわせてアメニティ・レポート、名簿の発行、総会資料の作成など作業がたくさんあります。発行物はすべて手作りなので、多くのスタッフが集まって人海作戦となります。その作業のスタッフを募集しています。同封の用紙またはメールでご覧のうえ、参加いただける方はご連絡ください。